

令和5年度 第2回北栄町環境審議会議事録

1 日 時 令和5年12月17日（日）午後1時30分～4時00分

2 場 所 大栄農村環境改善センター 大会議室

3 出席者 委 員 別紙委員名簿のとおり
事務局 環境エネルギー課 杉本課長、岩本室長、三谷室長、手嶋主幹

4 日程及び内容

1. 開会

上榎会長 あいさつ

出席者確認：過半数以上参加で会の成立

（審議会内容）

2. 議事

（1）環境基本計画見直し（地球温暖化対策実行計画）の素案について
資料に沿って説明

（大きな変更点）

- ・環境基本計画と地球温暖化対策実行計画（区域施策編、事務事業編）の一体化
- ・まちづくりビジョンの計画期間に合わせる（計画期間末：R8⇒R12年度まで）
- ・R4年度の時点修正（数値目標：R4実績、R12目標の修正等）

（2）その他

特になし

3. その他

（1）環境報告書

令和4年度（作成途中）の報告

資料に沿って内容説明

⇒意見があれば、後日連絡（1/12目途）をしていただく

（3）その他（来年度以降の状況）

- ・軟質プラスチック分別回収の実施検討をしている旨を報告
⇒R6実施に向け、琴浦町を参考に検討を進めている
- ・環境配慮型ゴミ袋導入の保留
⇒バイオ素材の需要増加、物価高騰、作成費用の増加等があり、R6年度については導入保留する。今後のごみ袋代金の改定等に合わせて導入の検討を進める。
（ごみ袋販売価格が変わらない場合に賛成の意見が多かったことも考慮）
- ・環境見守り隊の導入実施の報告
登録数（個人、事業所）、イベント実施の報告

議事録（概要版）

議事（1）環境基本計画見直し（地球温暖化対策実行計画）の素案について	
委員	計画の中に和暦と西暦、併記等が混在している。統一してはどうか？
事務局	計画、法律等は和暦を利用、国際的な物は西暦等としている。併記すると文字が多くなるので、和暦を中心にしている。基本は西暦と和暦を併記し、見にくい場合があるので、全体的に見てわかりやすくするよう判断させていただく。
会長	第1章で文が長く、主語がわからないところもある。短く区切ってわかりやすくしてはどうか？
事務局	短く区切ると文が多くなる場合等もあるので、わかりやすい文書になるよう点検していく。
会長	里地里山とはあまり聞きなれない言葉だが
事務局	生物多様性の保全など生態系を維持し、自然を保護するといった考えがある。原生的な自然と集落との中間に位置している地域。自然との緩衝地帯といった感じで農地、ため池、水路等で構成されている地域。人の生存と自然、生物が共生する場としてこれまで守っている地域。
委員	海岸清掃等のR4実績（1,960人）、R12目標（1,700人）となっており実績よりも少ない数字となっている。目標の検討が必要では？
事務局	R12目標の整理が間に合っていないところもある。再度、検討していきたい。
委員	目標数値を必ずしも実績より上げる必要はないと考える。人口減少となっているし、機械等の導入により、参加人数が少なくなってもごみ処理ができるといったこともある。そういったことを踏まえて数値目標の設定を検討しては。
事務局	総合的に判断し目標数値を検討させていただく
委員	ほくえい環境塾の参加人数が増えているのは？参加者が増えているのであれば目標を上げてもいいのではないか
事務局	北栄砂丘まつり等のイベントに参加し、それをカウントしている。一時的なものでもあるので、目標数値までは変更しないでいいと判断している。
委員	そういった事情が分かるように注記等を入れた方がよいのでは。
事務局	注記等検討します
会長	数値目標はR12の予定だが、表の中にも記載しておいた方がわかりやすいのでは？
事務局	計画の期間がR12なので把握できると考えているが、他の計画（まちづくりビジョン等）との整合を図りたい。
委員	持続可能な社会をつくるためには、違う世代でいっしょに話し合うような機会があってもよいと考える。例えば学校の参観日の時に親、祖父母等と一緒に環境問題について考えるなど。全ての世代の意識づけ、同じ意識を持つことが大切。また情報発信が重要。
事務局	子どもたちが家で話をすると家族の意識が変わる。各学校でエコクラブなどを実施している。いろいろなところで家族を絡めた活動ができないか等の検討を進めていく。マスコミに載せるなど情報発信を進め、若い人が興味を持つような工夫した取り組みを検討し、継続して取り組んでいきたい。
委員	県の取組みで子供、家庭の啓発として「うちエコ診断」をしている。自分の家の無駄な電力がわかりやすくなる。省エネに対する意識を高めていく。事業所、社員向けのSGDs関連といったところも検討を進めている。「チャレンジシート」といったことで省エネを考えていく取り組みも検討している。必要であれば、北栄町にも情報共有をしていく。
委員	各学校で特色のある学習を考えている。この町の課題を子どもと地域で考えていく必要がある。まずはごみがどの程度出ているかや町探検等からはじめ、総合学習に含め、年代に応じた学習レベルで学習を継続していくこと等が重要。議論しまちづくりにつなげていく。
委員	PTAを交えた取り組みを行ってもいいのではないか。エコ活動などでPTAに動いていただき、やってよかったとなれば継続されると思うし、家庭へとつながっていく。みんなが取り組んでいくことで、継続した活動に繋がる可能性もある。大き

	な力に繋がっていく。PTA は力が出せるコミュニティだと思う。
事務局	いろいろなご意見ありがとうございました。その他、環境基本計画等にご意見等があれば、事務局に連絡をお願いします。
委員全体	了解